

マルバチシャノキ

か めい
科名 ムラサキ

べつ めい
別名

がくめい
学名 Ehretia dicksonii



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 ほんしゅう ち ばいせい しこく きゅうしゅう おきなわ
本州 (千葉以西)、四国、九州、沖縄、
ちゅうごくなんぶとう
中国南部等

は かたち
葉 の 形 だえんけい
楕円形

は ふち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は き ふ くさびがた ハートがた
葉 の 基部 くさび形、ハート形

み しゅるい かくか
実 の 種類 核果

はな がくいろ しろいろ
花 ・ 萼 色 白色

せつ せい
めい 明 にわき う らくようせい しょうこうぼく は ごせい あつ こうだえんけい なが
庭木として植えられている落葉性の小高木です。葉は互生し厚く、広楕円形などで長さ
6-17 cm、幅5-12 cm、葉の表面は剛毛があるためざらつきます。葉の縁は鋸歯があり、葉の
基部はくさび形あるいはハート形です。白い花が咲きます。実は核果で径約1-1.5 cm、黄色
く熟します。